

# 令和8年度 柔道大会要項

## 福岡県中学校

主催 福岡県中学校体育連盟 福岡県教育委員会 北九州市・福岡市教育委員会  
筑豊地区各市町村教育委員会  
主管 筑豊地区中学校体育連盟  
後援 (公財)福岡県スポーツ協会 筑豊地区各市町村体育協会 福岡県柔道協会  
西日本新聞社

1. 大会名 第71回福岡県中学校柔道大会

2. 期 日 令和8年7月29日(水)・7月30日(木)

7月28日(火)〈前日練習〉 練習時間 14:00~15:00  
体重測定 15:00~16:00

7月29日(水)〈男女団体戦〉 体重測定 8:20~8:50  
審判・監督会議 9:00~9:20  
開会式 9:30~  
競技開始 9:50~  
(女子選→男子選→女決勝T1回戦→男決勝T1回戦)  
※表彰式  
※表彰式終了後1時間の練習時間を設ける。同時にこの時間帯で男女個人戦出場者の体重測定を行う。

7月30日(木)〈男女個人戦〉 体重測定 8:20~8:40  
審判・監督会議 8:50~9:10  
開始式 9:20~  
競技開始 9:40~  
(女子1回戦→男子1回戦~決勝)  
表彰式・閉会式 競技終了後

3. 会場 福岡武道館 〒812-0045 福岡市博多区東公園 8-3 ☎092-633-2666

4. 参加制限 地区代表のチーム及び個人とする。

〔団体戦〕

(1) 男子の編成は、監督(校長・教員・部活動指導員・チームスタッフ)、コーチ各1名、選手7名以内とする。

女子の編成は、監督(校長・教員・部活動指導員・チームスタッフ)、コーチ各1名、選手4名以内とする。

(2) 地区出場校数は、福岡、北九州、筑後、筑豊、筑前各6校、京築2校 計32校とする。

〔個人戦〕

(1) 男女共に体重別として、男子8階級、女子8階級に分ける。地区別出場者数は、各階級とも福岡、北九州、筑後、筑豊、筑前各3名、京築1名計16名とする。

※階級 〈男子〉50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級  
〈女子〉40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級

5. 競技方法 〔団体戦〕

(1) 参加32チームを4チームずつ8組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位を8チームによって決勝トーナメント戦を行う。

(2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。

①勝者数の多いチームを勝ちとする。

②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを勝ちとする。

- ③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
- ④③で同等な場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
- ⑤④で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
- ⑥⑤で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
- (3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。
  - ①3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
  - ②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
  - ③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを上位とする。
  - ④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多いチームを上位とする。
  - ⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による勝者数の多いチームを上位とする。
  - ⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多いチームを上位とする。
  - ⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
  - ⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ないチームを上位とする。
  - ⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ないチームを上位とする。
  - ⑩⑨で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による敗者数の少ないチームを上位とする。
  - ⑪⑩で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ないチームを上位とする。
  - ⑫⑪で同等の場合は、代表戦（1名）により順位決定戦を行う。

#### [個人戦]

- (1) トーナメント方式によって行う。
- (2) 得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
- (3) 延長戦の勝敗は、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。

## 6. 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規程（2025年1月1日より施行）、「少年大会特別規定」（2026年4月1日より施行）及び本大会の申し合わせ事項による。
  - (2) 勝敗の判定基準は、団体戦においては「一本」「技有」「有効」または「僅差（指導の差2以上）」とする。個人戦においても「一本」「技有」「有効」または「僅差（指導の差2以上）」以上とする。
  - (3) 代表戦の判定基準は団体戦と同じとするが、3分間の本戦で得点がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦での勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
  - (4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。  
 {「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」}
  - (5) 試合時間は、団体戦、個人戦ともに3分間し、延長戦は無制限とする。
  - (6) 競技規則に問題が起こった場合は、専門委員会で協議する。
  - (7) チーム編成（オーダー）は、体重順とし一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。また、選手6・7（選手4）を入れる場合も同じ。（体重が同じ時は新たに入るものが先鋒に近い方とする）
    - ①試合は、選手5名（女子3名）の対抗戦とする。
    - ②オーダーの変更は認めない。
    - ③一度退いた選手の再出場は認めない。
    - ④すでに申込みをしている選手が事故のため変更するときは、大会開始前までにこれを認める。（変更届を代表者名で提出すること。）
- ※変更の手続きとして、すでに登録してある選手6・7（選手4）からの補充を優先に行い、新たに補充する選手が選手6・7（選手4）に再登録をする。但し

最初から選手6・7(選手4)の登録をしていない場合は、その限りではない。

⑤欠員が生じた場合は、先鋒の方から空きとする。

- (8) 柔道衣の色は白色とし、女子の黒帯は黒のみとする。
- (9) 柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(チーム名・名字入り)
- (10) 女子は、上衣の下に白色または白い近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。なお、Tシャツのマーキングは、全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。
- (11) 団体戦・個人戦出場選手は、指定された期日・時間帯に体重測定を必ず行うこと。また、計測を受けなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。
- (12) 柔道衣コントロールは、従来通りの方法で実施する。
- (13) 胸マーキング等について道場名等も可とする。柔道衣のゼッケンと胸マーキング等は統一とする。但し、拠点校部活動については、団体戦においてゼッケンのチーム名称を統一させる。個人戦では、その限りではない。

## 7. 監督・コーチについて

- (1) 中学校における引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合「大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者(コーチ)に引率及び監督の資格を認める。
- (2) 地域クラブ活動における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。
- (3) コーチのベンチ入りは男女問わず1チーム1名とし、ベンチ入り希望者は大会出場申込用紙に氏名を明記の上、チーム1名のみ申請を行う。また大会当日は本人に限る。
- (4) 外部指導者(コーチ)は、令和8年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している。
- (5) 監督・コーチは、大会本部発行のIDカードを大会当日に受取り、大会中は必ず携帯すること。
- (6) 服装は、審判員に準じた服装とし(服装規定に準じない場合は、ベンチ入りを認めない場合がある)、マナーを守って指導にあたる。

8. 参加資格 県総体開催基準および「特別規定」による。

9. 参加料 参加選手一人につき2,000円とする。(大会当日のチーム受付時に徴収する)

10. 組み合わせ 各地区の県大会申込終了後、団体戦のみ各地区の専門委員より公表を行う。

11. 前日練習 会場：福岡市立千代中学校 福岡市博多区千代4-17-47 ☎092-641-4531

12. その他
- (1) 本大会の団体戦優勝チーム・個人戦各階級1位の者は全国大会への参加義務を負う。
  - (2) 本大会の団体戦上位2チーム・個人戦各階級上位2名は九州大会への参加義務を負う。
  - (3) 福岡県中学校体育連盟遵守事項を厳守のこと。
  - (4) 観客の人数制限を行う場合がある。
  - (5) 本大会の会場において事故が発生した場合、医療関係者が応急処置や医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り、医療関係者は責任を負わないこととする。